## 日本地震学会2021年度秋季大会における Zoom口頭セッションマニュアル

日本地震学会 大会・企画委員会 2021年9月14日公開 本マニュアルは逐次更新していきます

本マニュアルのスクリーンショットはWindows 10のZoomアプリとMicrosoft Edgeでの表示例となります。ご 利用の端末、OS、アプリのバージョン、ブラウザ等の環境により、異なる場合があります。また、模擬的な表 示や昨年度の情報も用いているため、本年度の実際の秋季大会での表示とは異なります。

## 目次

## • P.2:目次

- P.3:口頭セッションのコマ ←皆さまご確認ください
- P.4~10:Zoom口頭セッションへの接続(1)~(6) ←(1)は皆様ご確認ください
   (2)以降はZoomに不慣れな方向けです
- P.11:名前の設定 ←皆様ご確認ください
- P.12~13:Zoom口頭セッションでのルール(1)~(2) ←皆様ご確認ください
- P.14~19:講演される方へ(1)~(6) ←講演される方はご確認ください
- P.20~24:座長の方へ(1)~(5) ←座長の方はご確認ください

口頭セッションのコマ

このマニュアルでは休み時間で区切られる一連の講演のまとまりをコマと呼びます 以下の本秋季大会の時間割のAM-1、AM-2、PM-1に当たります 一つのコマに複数のセッションが入る場合もあります

#### 1日目10/14(木)

	A会場 A会場	B会場 B会場	C会場 C会場	D会場 D会場
9	A会場	B会場	C会場	D会場
	<u>AM-1</u>	<u>AM-1</u>	<u>AM-1</u>	<u>AM-1</u>
	特別セッション	特別セッション	一般セッション	一般セッション
10	<u>921 空调物理,地下</u> A会場	S23. ベイズ統計学に よる地空データの解	S09. 地震活動とその 物理	S06. 地殼構造
10	<u>AM-1</u>	析と数理モデリング	₩₩ 座長·麻牛 尚文(東京丁	坐長:仲西 埋子(海洋研 究間登機構)
44	4.公旧	0.4/1	o 众 相	D 众相
11	AM-2	AM-2	AM-2	AM-2
	一般セッション S15 瑞宮動・地容災	特別セッション 523 ベイズ統計学に	一般セッション S09 地震活動とその	一般セッション S06 地設構造
12	害	よる地震データの解	物理	应目·左湖 主7/古方十
13				
	A会場	B会場	C会場	D会場
	PM-1	PM-1	<u>PM-1</u>	<u>PM-1</u>
14	一般セッション	B会場	一般セッション	D会場
	S15. 強震動・地震災	<u>PM-1</u>	S09. 地震活動とその	<u>PM-1</u>
	吉	特別セッション	初生	一般セッション
15				

#### 2日目10/15(金)

	A会場 A会場	B会場 B会場	C会場 C会場	D会場 D会場
9	A会場 A <u>M-1</u> 一般ゼッション S4E 建空味,他空災 A会場 A <u>M-1</u>	B会場           AM-1           一般ゼッション           S08.地震発生の物理           座長 安藤 亮輔(東京大学)、久保田 遠矢(師)33	C会場 AM-1 一般セッション S09. 地震活動とその 物理 座長小太曽仁(奈魚研)	D会場 AM-1 一般セッション S03. 地設変動・ GNSS・重力 座具・富田 中童(東北大
11	A会場 A <u>M-2</u> 一般ゼッション S16. 地盤構造・地盤 麗動	B会場 <u>AM-2</u> 一般ゼッション SO8. 地震発生の物理 ☆ ■ 開田 生業/信負担	C会場 <u>AM-2</u> 一般ゼッション Sna. <sup>th</sup> 空送動とスカ C会場	D会場 D会場 <u>AM-2</u> 一般セッション C02 地図時期, 加理
13 14	A会場 <u>PM-1</u> 一般セッション	B会場 <u>PM-1</u> 一般セッション	C会場 <u>PM-1</u> 一般セッション	D会場 <u>PM-1</u> — <del>回けいマッコン、</del>
15	804. テクトニクス	S08. 地震発生の物理 座長:鈴木 岳人(青山学 院大学)、中島 這一(東	S17. 津波 座長:馬場 俊孝(徳島大 学)、楠太 熙(海洋研究)	PM-1

#### 3日目10/16 (土)

	A会場	B会場	C会場
	A会場	B会場	C会場
9	記念講演		
	<u>AM-1</u>		
	S20. 受賞記念講演		
10	座長:安藤 亮輔(東京大		
	学)		
			- 4 10
11	A会場	B会場	C会場
	<u>AM-2</u>	<u>AM-2</u>	<u>AM-2</u>
	一般セッション	一般セッション	一般セッション
	S01. 地震の理論・解	S08. 地震発生の物理	S10. 活断層・歴史地
12	析法	麻戸 キロ キだ オルキ	æ
4.0			
13			
	4公坦	n∆t⊟	o 合 把
			DM 1
4.4	<u>PIVI-1</u>		
14		DM 1	
		<u>- IVI- I</u>	
	<u>PIVI-1</u>	一般セッション	
4 5	6047.012>.	Q19 th亚教育,th亚	
15			

## Zoom口頭セッションへの接続(1)

大会会場サイト(ログインが必要です)のタイムテーブルにZoomへのリンクが掲載されます リンク先(URL)は最終日の受賞記念講演セッションを除き、 一つの会場で終日同じものとなります A会場 B会場 C会場 D会場 (セッションが変わってもURLは変わりません) A会場 B会場 C会場 D会場 8 -秋季大会-9 カーソルを載せる A会場 3会場 C会場 D会場 Fall Meeting AM-1 AM-1 AM-1 AM-1 Seismological Society of Japan と説明が展開し、 特別セッション 特別セッション 一般セッション 一般セッション A01 空酒物理,抽下 S23. ベイズ統計学に S09. 地震活動とその S06. 地設構造 TOP Zoomへのリンクが A会場 よる地震データの解 物理 座長:仲西 理子(海洋研 お知らせ マイメニュー アカウント設定 析と数理モデリング AM-1 座長·麻牛 尚文(東京王 究闘発機構) 現れます ▶ いいね!した講演(0) ▶ プロフィール設定 ▶ マイプロフィール ▶ メールアドレス お知らせはありません。 ▶パスワード A会場 A会場 B会場 C会場 D会場 マイスケジュール AM-1 AM-2 AM-2 AM-2 AM-2 » 全てのお知らせを表示 ▶ 全て(0) ▶ 10月14日(0) 特別セッション ▶ 10月15日(0) ▶ 10月16日(0) 一般セッション 特別セッション 一般セッション 一般セッション S21. 震源物理・地下 S15. 強震動・地震災 S23. ベイズ統計学に S09. 地震活動とその S06. 地設構造 MENU 構造推定・確震動評 12 主 よる地震データの解 物理 応見, たちま キマ (まちよ 価のための地震波ス 開催情報 ペクトル解析 > お知らせ(0) 座長:内出 崇彦(国立研 特定商取引に基づく表記 究開発法人 産業技術 タイムテーブル 総合研究所)、染井 -13 窅(地域 地盤 環境 研 2021年10月14日(木) > 2021年10月15日(金) 究所) 9:00 - 10:00 A会場 B会場 C会場 D会場 2021年10月16日(土) > 2021年10月14日(木) ポスター PM-1 PM-1 PM-1 PM-1 2021年10月15日(金)ポスター Zoom会場 B会場 D会場 14 はこちら 一般セッション 一般セッション プログラム <u>PM-1</u> PM-1 S15. 確震動・地震災 S09. 地震活動とその ヤッション一覧 > 予稿集PDFダウンロード Zoomへのリンクは大会が 物理 害 特別セッション 一般セッション 座長·野田 雄貴(京都大 講演検索 座桌·野津 厚(港湾空港) C02 #h=心亦玉 近づいてから公開予定 15

Zoom口頭セッションへの接続(2)

Zoomへのリンクを開くとWebブラウザに確認画面が現れます Zoomアプリを起動するか、ブラウザでZoomを起動してください



# Zoom口頭セッションへの接続(3)アプリの場合

Zoomアプリを起動するとオーディオ(音声通話)への参加の確認画面が表示されます お使いのパソコン内蔵のスピーカー・マイクもしくはパソコンに接続したスピーカー・マイクを利用する という意味の「コンピューターでオーディオに参加」を選んでください

Zoomアプリは頻繁に更新されていますので、セキュリティ上、最新版のアプリをお使いください



## Zoom口頭セッションへの接続(3)ブラウザの場合

ブラウザでZoomを起動すると名前を設定する画面、オーディオへの参加を確認する画面が順に表示されます



ロボットではないことを確認するテストが表示されます テストに合格後「参加」をクリックしてください 「コンピューターでオーディオに参加」を クリックするとZoomに入室できます

# Zoom口頭セッションへの接続(4)

迷惑行為対策のため管理者側でZoomの機能で録画を行っています。問題が発生しなければ、録画したデータは大会終了後に消去します

そのためZoomが立ち上がると以下のような注意書きが表示され、「このミーティングは録音されています」もしくは「Recording in progress」というメッセージが流れます

口頭セッションに参加するためには、「了解」のボタンを押してZoomミーティングに参加してくだ さい



Zoom口頭セッションへの接続(5)

Zoomの見た目は表示設定により様々に異なります。本マニュアルでそのすべてを網羅することは難しいので、 一部のみご紹介します。以下は画面共有されていない場合です。



Zoom口頭セッションへの接続(6)

Zoomの見た目は表示設定により様々に異なります。本マニュアルでそのすべてを網羅することは難しいので、 一部のみご紹介します。以下は画面共有されている場合です。





### Zoomでの名前を「【役割】姓名:所属」(姓と名の間は半角スペース)と設定してください

Zoom入室後の名前の設定(変更)の仕方



#### 【役割】と設定例は以下の通りです

- そのコマで講演のある方
   ⇒【講演番号】をつけてください
  - ▶ 例:【S0X-0Y】地震 学:地球大
- そのコマの座長の方
  - ⇒【座長】をつけてください
  - ▶ そのコマで発表がある場合の例:【座長SOX-OY】地震学:地球大
  - ▶ そのコマで発表がない場合の例:【座長】地震 学:地球大

### • そのコマの学生優秀発表賞対象発表の審査員

- ⇒【審査員】をつけていただくことができます(任意)
- ▶ そのコマで発表がある場合の例:【審査員SOX-OY】地震学:地球大
- ▶ そのコマで発表がない場合の例:【審査員】地震 学:地球大
- ・ 受賞記念講演セッションでの受賞者
   ⇒ 【受賞者】をつけてください
  - ▶ 記念講演がある場合の例:【受賞者S20-0X】地震 学:地球大
  - ▶ 記念講演がない場合の例:【受賞者】地震 学:地球大
- Zoom管理、トラブル対応を率先して実施する方(大会・企画委員会、LOC、 協力会社)⇒【管理者】をつけています
  - ▶ A会場の管理者の例(発表あり):【A会場管理者SOX-OY】地震学:地球大

11

- ▶ A会場の管理者の例(発表なし):【A会場管理者】地震 学:地球大
- ▶ A会場の協力会社の担当の方:【A会場管理者】インターグループ

#### ▶ それ以外の方は【役割】はつけないでください

▶ 例:地震学:地球大

# Zoom口頭セッションでのルール(1)

- 座長の方、講演の方、質問の方以外は「ミュート解除」、「ビデオの開始」をしないでください
- ・質問がある場合には、座長が質問を受け付けた後に、「手を挙げる」機能で挙手し、座長に指名されたらミュート解除して質問してください。ビデオの利用は任意です。指名された方は、参加者リストに挙手が残らないように、「手を降ろす」をお願いします



# Zoom口頭セッションでのルール(2)

- 全員へのチャットは基本的に利用しないでください。座長もしくは管理者がチャットでの応答をお 願いした場合のみ利用してください(共同座長、管理者は「手を挙げる」が利用できないため、 チャットで質問があることを伝えることがあります)
- 迷惑行為やトラブルがあった場合には、管理者にチャットにて連絡してください
- 迷惑行為対策のため管理者側でZoomの機能で録画を行います。問題が発生しなければ、録画した データは大会終了後に消去します
- 各参加者がZoom機能で録画を行うことはできません。また発表者の許可なく、口頭発表の録画、 録音、スクリーンショットの取得を禁止します

 $\times$ 



# 講演される方へ(1)

- コマの開始(休み時間明け)の5分前までにZoomに入室してください。やむを得ず時間帯の初めから入室できない場合には、あらかじめssj-program(at)tokyo.email.ne.jp((at)を@に変えてください)にメール連絡してください
- 名前は「【講演番号】姓名:所属」と設定してください(例:【S0X-0Y】地震学:地球大)
- 講演時間がきたら、座長の進行に従い講演を開始してください
   ⇒ミュート解除、画面共有を行い、必要に応じてビデオを開始してください



# 講演される方へ(2)

- 講演中は「【管理者】インターグループ」と表示されるタイムキーパーの画面に残り時間が表示されます。
- 発表開始から以下の経過時間でベルを鳴らします。
  - ▶1鈴(ベル1回):10分後(発表残り時間2分、講演全体の残り時間5分)
  - ▶2鈴(ベル2回):12分後(発表時間終了、質疑応答へ)
  - ▶3鈴(ベル3回):15分後(講演全体の終了)

受賞記念講演(若手学術奨励賞)と特別セッションS23の招待講演については以下の通りです。

- ▶1鈴(ベル1回):15分後(発表残り時間2分、講演全体残り時間5分)
- ▶2鈴(ベル2回):17分後(発表時間終了、質疑応答へ)
- ▶3鈴(ベル3回):20分後(講演全体の終了)
- 残り時間を適宜確認して講演を行ってください。

# 講演される方へ(3)

- 2鈴が鳴ったら、発表を終えて質疑応答に移行できるように努めてください。
- 質疑応答では座長が指名した方の質問に口頭で回答してください
- 講演全体の時間が終了したら画面共有を停止し、ミュート、ビデオの停止を行ってください 次の講演に移っても画面共有が停止されていない場合には、管理者側で停止することもあります



# 講演される方へ(4)

• 画面共有に用いるファイルの種類に制限はありません。以下はPowerPointでの例をご説明します



# 講演される方へ(5)

• 画面共有に用いるファイルの種類に制限はありません。以下はPowerPointでの例をご説明します



講演される方へ(6)

自分の画面に発表者ツールが表示されている場合

- スライドショーではなく発表者ツールが画面共有された場合には、以下の対応で直せる可能性があ ります
- 講演時の時間ロスを避けるため、事前接続確認期間や休み時間中にスライドショーの画面共有につ いてご確認をお願いいたします



自分の画面にスライドショーが表示されている場合

座長の方へ(1):Zoom入室~コマの開始

### Zoom入室

- コマの開始(休み時間明け)の5分前までにZoomに入室してください。入室を確認したら、管理者が共同ホストの権限を割り当てます
- コマの初めが座長を担当していないセッションで、やむを得ず時間帯の初めから入室できない場合には、あらかじめssj-program(at)tokyo.email.ne.jp((at)を@に変えてください)にメール連絡してください
- 名前は「【座長(発表番号)】姓名:所属」と設定してください
   発表がある場合の例:【座長S0X-0Y】地震学:地球大
   発表がない場合の例:【座長】地震学:地球大

### コマ(もしくはセッション)の開始

- ミュートしている場合にはミュート解除して、コマ(もしくはセッション)の開始をアナウンスしてください。大会運営に関してアナウンスしていただきたい事項を事前にメールでご連絡いたしますので、開始時にそのアナウンスもお願いいたします。必要でしたらビデオもオンにしてください。アナウンス内容例はP.23座長の方へ(5)に記載しています
- コマの開始のアナウンスは、基本的に一人目の発表を担当される座長の方に行っていただくことを 想定していますが、座長間でご調整いただいても構いません。メールアドレス等の情報が調整上必 要であれば、座長依頼をしたセッションコンビーナにお問い合わせください

座長の方へ(2):講演の進行

### 講演の開始

- 講演者の発表以外の時間(講演者名・タイトルの紹介、質疑応答)は、基本的にミュートを解除しておいてください。ビデオについては必要な場合にはオンにし、発表と質疑応答の時間は基本的にオフにしてください
- スケジュールに従って講演者名・タイトルを紹介し、講演者への画面共有、ミュート解除のお願いをして、講演を開始してください
- 講演者が画面共有やミュート解除に手間取っている場合、基本的に【管理者】が技術的な対応をします。講演者へのサポートを依頼する場合、ミュート解除して呼びかけるか、チャットで連絡してください

### 講演の時間管理

- 講演時間15分のうち、発表は12分、質疑応答は3分とします。【管理者】のビデオに残り時間が表示されます。また【管理者】が以下の経過時間でのベルを鳴らします
  - ▶1鈴(ベル1回):10分後(発表残り時間2分、講演全体の残り時間5分)
  - ▶2鈴(ベル2回):12分後(発表時間終了、質疑応答へ)
  - ▶3鈴(ベル3回):15分後(講演全体の終了)

なお特別セッションの招待講演(S23-07、S23-08、S23-09)については以下の通りです ▶1鈴(ベル1回):15分後(発表残り時間2分、講演全体の残り時間5分) ▶2鈴(ベル2回):17分後(発表時間終了、質疑応答へ) ▶3鈴(ベル3回):20分後(講演全体の終了)

座長の方へ(3):質疑応答~コマの終了

### 質疑応答の開始

- 講演者が発表を終えたら質疑応答に移行してください。2鈴を過ぎても発表が続く場合には、適切なタイミングで発表終了を指示してください
- ・質問のある方に「手を挙げる」での挙手を依頼してください。「参加者」のリストで手を挙げた方が上部に表示されますので、質問者を指名してください
- 共同ホストになっている他の座長の方や管理者は「手を挙げる」が使えませんので、チャットでの 挙手(「質問があります」等の書き込み)を受けつけてください
- 学生優秀発表賞審査対象と思われる講演への質疑応答では、可能な範囲で【審査員】の表示のある 方の質問を優先してください。対象の講演を事前にお知らせする訳ではないので、可能な範囲で構 いません

#### 質疑応答の時間管理

- 質問がなくなった場合や3鈴が鳴った場合には質疑応答を終了させ、次の講演に移行してください
- ・ 座長が交替する場合には、講演の移行の際に適宜バトンタッチしてください。担当が終わった座長の方はミュートやビデオオフにしてください

### コマの終了

 コマ最後の発表が終了したら、コマ(もしくはセッション)終了のアナウンスをしてください。ア ナウンス内容例はP.23座長の方へ(5)に記載しています。

座長の方へ(4):トラブル対応等

### 基本方針

 発表者がすぐにつかまらなかったり、画面共有に手間取った場合でも、順番の変更などは行わず、 基本的にプログラム通り進行してください

#### 時間管理

- 通常の大会よりコマ割りに余裕があり、Zoomミーティングは各会場で終日同じURLで休憩時間に なっても切断されることはありませんので、多少は対応に時間を使っていただくことはできるかと 思います
- 発表者が手間取っている場合には、タイムキープを行っている「【管理者】インターグループ」に、 適宜タイマーの開始、一時停止等の指示をしてください

### 大会本部(大会・企画委員会、LOC)との連絡

- 各会場に大会本部からの管理者が常駐しますので、発表をとりやめにするなどの最終的な判断は、
   管理者とご相談して決定していただければと思います
- 大会本部に発表者の情報が入ったり、運営上の情報が入った場合には、管理者より座長にご連絡しますので、アナウンス等をお願いいたします
- その他トラブル等あれば管理者にご連絡ください

座長の方へ(5):アナウンス内容

### コマの開始時の例

 「これから午後のSOX・・・セッションを開始します。 大会・企画、LOCから連絡があり、・・・とのことです。(←連絡があった場合のみ) 発表時間は12分、質疑応答時間は3分で、残り時間はタイマーで表示されます。また10分で1鈴、 12分で2鈴、15分で3鈴を鳴らします。
 ご質問がある場合には「手を挙げる」機能で挙手をお願いします。座長より指名された方は忘れず に手を降ろしてください。
 また、ご発表、ご質問の場合以外は、マイクはミュート、ビデオはオフとしてください。

コマの終了時の例

• 「これで午後1つ目のSOX・・・セッションを終了いたします。次の発表は休憩後Y時Z分からの 再開となります。」